

太陽光発電が切り開く 『“新しい”地域の時代』

- ◆再エネが主力電源となる時代の、国・地域のあり方とは？
- ◆再エネ発電事業が、地域に根ざし地域と共生するモデルとは？
- ◆エネルギーの地産地消、地域のレジリエンス強化？
- ◆発電事業者、太陽光業界関係者が果たすべき役割とは？

先着
100名

日
時

2020年 2月6日 (木)

(10:00開場)
10:30-17:30

会
場

シダックス
カルチャーホール
東京都渋谷区神南1-12-10
シダックスカルチャービレッジ

「固定価格買取制度(FIT)」のおかげで、太陽光発電システムは劇的に普及し大幅な低価格化を達成できました。その結果、グリッドパリティに到達し、自家消費型太陽光発電が普及するための基盤が整いつつあります。

FITによる全量売電のビジネスモデルから、自家消費型モデルへのコペルニクスの転回を進めるにあたっては、再エネを活用した地域活性化が大きなポイントとなります。“新しい”地域の時代とはどのようなものなのか。それぞれ果たすべき役割は何か。一緒に考えてみませんか。

＜＜対象＞＞

- ・太陽光業界関係者
(販売・施工店、メーカー、商社等)
- ・自治体の再エネ担当者、企業担当者
- ・発電事業者

◆参加費◆

共催団体会員	5,000円(税込)/人
非会員	10,000円(税込)/人
非会員(会員紹介)	8,000円(税込)/人

セミナー内容(案)

第一部 環境省講演(10:40-11:25)

地域循環共生圏の普及を図る意図、その特徴などを分かりやすく解説

第二部 経産省講演(11:30-12:15)

脱FITを導く、制度の抜本見直しの方向性と進捗状況

第三部 浜松市講演(13:10-13:55)

自治体と企業が連携し、再エネの地産地消を始めている浜松版スマートシティとは？

第四部 エネファント(たじみ電力)講演(14:00-14:45)

「EVレンタル」&「太陽光カーポート」&「新電力」の組合せで若者の地元離れを防ぐ、たじみ電力の地域活性化ビジネス

第五部 ソーラーシェアリングと工場による自家消費事例(15:00-15:30)

千葉エコ・エネルギーによる新しいソーラーシェアリング事例

第六部 パネルディスカッション(16:20-17:25)

地域循環共生圏を実現するための『官・民協力』に必要なこととは

お申込は、下記フォームか右記QRコードよりお願いします。

<https://forms.gle/uv5KpHaozacaS4pK9>

QRコード



お問い合わせ

新エネルギー革命会 事務局 info@energyvision.tv
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-3 池原ビル3F TEL03-5829-6424